



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kito-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

DECEMBER 1992, No. 6

The Service Club to the YMCA

Chartered September 25, 1982

MOTTO (1992~1993)

IP "Let's care, let's share!" 労りの手, 分かち合いの心

AP "Look beyond yourself!" 乗り越えよう, われわれ自身を

RD "Extend Y'sdom throughout community" 広げよう! 社会にワイズの大きな輪

-aim high at 6000-

-日本区6000への実りを求めて-

DG 『日々, 新しく生きる!』

CP 『先ず実践! 感謝と報恩の行動を!』

=月間強調テーマ= "Youth Activities"

MERRY CHRISTMAS

大阪センテニアルクラブ10周年記念パーティー



☆= 12月の聖句=☆

「マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」
 そこで、天使は去って行った。」
 (ルカによる福音書 1章 38節)

☆「いつもクリスマスの劇で、マリアさんがこの言葉を言うよ!」

★「そう。これは天使にイエス様のお母さんになることを知らされた時に、マリアさんが最後に言った言葉なのね。マリアさんは最初、そんなのいやだって思ったのね」

☆「どうして?」

★「この時、マリアさんはまだ結婚していなかったの。ヨセフさんと結婚するお約束はしていたけど」

☆「じゃあ、未婚の母?」

★「だから、マリアさんは、そんなこと起こってほしくなかったのね。でも天使は、これは神様のなさることですっていうの」

☆「それであきらめたの? マリアさん」

★「あきらめたんじゃなくて、神様のなさることを信じて、それに従おうって決心したのね」

☆「よかったね! クリスマスがなくならなくて」

★「そうね! こんなふうに、クリスマスは神様のなさることを信じることから始まるのよ」

(杉浦眞喜子君撰・解説)

☆☆☆

12月第1例会 (クリスマス家族例会)

☆☆☆

日時：1992年12月10日(木) 6:30~8:30 P.M.
会場：オレンジホール(平田ビル9F)

- ◆第1部 みんなでやろう ページェント
司会：杉浦真喜子君
 - ◆第2部 例会並びに大いに楽しむ祝会
司会：津田葉清政君
- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 上月英子会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. ゲ ス ト 紹 介 | 上月英子会長 |
| 4. 乾 杯 | 鈴木 謙介 君 |
| 5. 晩 餐 | 一 同 |
| 6. プレゼント 交 換 | 一 同 |
| 7. お 誕 生 祝 い | 一 同 |
| 8. ニコニコ 献 金 | ド ラ イ バ ー |
| 9. 役員会・委員会報告・YMCAニュース | |
| 10. 閉 会 点 鐘 | 上月英子会長 |

= 12月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people . . .

黒田君 2日	堀 君 2日
上月君 13日	中村君 26日

◎12月例会当番： (第4班)

田中君, 佐藤君, 横山君, 藤本君, 河野君,
会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。

= 12月第2例会 =

日時：1992年12月16日(木) 6:30~8:30 P.M.
場所：大阪YMCA国際・社会奉仕センター
(今回は開催日がいつもと変わっています)



(創立10周年記念パーティのひと駒)

10周年記念祝会について

実行委員長 平田 雅利

我がセンテニアルクラブも誕生して、10年、楽しい日々は速く通り過ぎると申しますが、メンバーの皆様にとってあつという間の10年であったのじゃないかと思ひます。

この10年の節目を如何に演出し思い出の一ページにしたらと、実行委員会を去年の10月に開催し、10回余りお忙しい中お集りいただき、暖き御支援にて無事終了する事ができました。

今回の記念祝会を企画するに当り、まず我々メンバーが自ら参加し楽しみ、思い出になる事を基本に考えました。それには、当日出来るだけ手を掛けなくて全員がプログラムに参加できる事、話題性があり、皆様が行って見たいという場所を設定する事、また会費は出来るだけ安く、多くの方々に無理なく参加していただける事などを頭に置き、皆様の御意見により、ウォーターフロントの海遊館とレストランサイレンに決定いたしました。

当日は少々寒かったのですが、メンバーの皆様のご案内にて複雑な会場を無事お集まりいただけました。ホールにての海遊館の誕生までのビデオやお魚のお話などを飼育課長にさせていただき、その後皆様を海遊館にご案内いたしました。土曜日にて多少混雑はしていましたが、太平洋の海の中の散歩気分を充分味わっていただけたのではないかと考えております。

3時より会場を移し、レストランサイレンにてのパーティ 160名余りの皆様をお迎えての大祝会になりました。鈴木元国際会長などのお力添えもあり、東京や遠方からも多数のお祝いにお越し頂いたお客様にただ感激。プログラムはシンプルをモットーに岡本雅子様ピアノ演奏だけというものでありましたが、皆様の出会いの場の提供と、主演は皆様の楽しいお話しというプログラムは、まず満足していただけたのではないかと考えております。

パーティ半ば、湯浅委員の司会により、上月会長の挨拶、YMCA田中総主事へ100万円の留学生基金を寄贈、また森メネット会長から10万円を同じく寄贈されました。

当日飛入りでも多数お越し頂いたり、また不慣れな点もあり、なにかと不行届きの点も多々あった様ですが、皆様仲間という事にて甘えておきたいと思ひます。

センテニアルクラブメンバー全員の皆様の力にて、盛大に思い出の1ページを作る事が出来、感謝いたします。

10周年実行委員：

平田, 秋月, 伊藤, 黒田, 隅田, 田中, 谷川,
真嶋, 湯浅

《10周年記念パーティに
国際書記より祝電》

05/11 '92 14:56 4122 738 4015

WORLD ALL YMCAS

Q002



**Y'S
MEN
INTERNATIONAL**

Club de service des UOJG
Service Club to the YMCA
Service Club für den CVJM
Club de Servicio para la ACJ

Ms. Eiko Kozuki
President
Y's Men's Club of Osaka Centennial
2-31-27 Godoyama
Takarazuka, Hyogo Pref. 665
Japan

Geneva, 6 November 1992 IW/ha

Dear Lady Y's Man Eiko Kozuki-san,

Our records show that your Club is about to celebrate its 10th anniversary, and I want to congratulate you and your fellow club members on this occasion.

I am sure that you will look back on the years that have gone by recalling many fond memories and also making an evaluation of if your Club has reached the goals it has set up. But an anniversary is also a time when one should look into the future. Is your Club adapted to the changing world of today and tomorrow? A constant review of the programme making sure that it fulfils the need of the YMCA and the community is necessary. With the high mobility among people today, we have to constantly bring in new members, thus making up for those we lose - and create new Y's Men's Clubs so that we actually do not lose those members, but in reality just transfer them to other clubs.

Thanks for what you have done - good luck and God's richest blessings for the future.

Y'sly and cordially,

Ingvar Wallin
Secretary General

国際書記 Ingvar Wallin 氏より我々の 10周年記念パーティのため Geneva から当日披露された上記のような御鄭重な祝電を頂きました。感謝！！

これは、谷川寛君の御盡力によるものであります。有難うございました。

《各クラブからのまね兄い、》

今回の 10 周年記念に当り、下記各クラブ並びにワイズメンの方々から御鄭重なお祝いを頂戴しました。衷心より厚く御礼申し上げます。

東京、京都キャピタル、大阪サウス、和歌山、大阪、
大阪土佐堀、大阪豊中、大阪千里、大阪枚方、
大阪西の各クラブと東京西クラブ・石井一也氏、
大阪長野クラブ・木下百太郎氏

* * *

《10周年記念パーティに際し
Geneva滞在中の谷川君より上月会長宛メッセージ》

*

大阪センテニアルの 10周年を心からお祝い申し上げます。

10 年を顧み本日お集りのみなさまのセンテニアル・クラブのための、永きにわたるお支えと、センテニアル・クラブのみなさまのお働きに心から感謝申し上げます。

これからの 10 年、センテニアル・クラブが、日本のワイズメンとして、日本の YMCA 及び世界の YMCA のため、さらによき働きができますよう、みなさまとともに祈りいたします。

スイス・ジュネーブ

世界 YMCA 同盟本部にて

谷川 寛

— I B C ニュース —

谷川 寛

◆ハワイ・ヌアヌヘ礼状

私がジュネーブから帰りました翌日(11月10日)、酒井哲夫さん(元大阪YMCA副総主事)より電話がありました。ハワイ・ヌアヌクラブを訪問したこと、および、当クラブの10周年を祝い、同クラブよりお祝いのメッセージ、おみやげ、ハワイ区のバッジ等を預って来て、岸川さんに渡してあることなどの報告でした。私にこれらを受けとった旨のお礼状を出してほしいとの依頼がありましたので、早速その旨の礼状をハワイ宛出してありますので、御報告いたします。

◆ワイズ国際本部訪問

世界YMCA同盟財務委員会出席を機会に、ワイズ国際本部 I S G イングバー・ワリーンのオフィスにも立寄りました。ヒルビイ・アングソンさん(I S D T C)にもお会いしました。イングバーさんは、彼のお嬢さん、ヘレナさん(ハワイ在住)が、私たちのブラザー、ヌアヌクラブのメンバーとなり、ヒラナカ夫妻が大変よく面倒をみて下さっていることを喜んでいきます。ヘレナさんもワイズの生活をエンジョイしているようで、いずれヌアヌクラブの会長にもなるでしょう。イングバーさんと冗談を言っていました・・・彼女が、いつか国際会長となり、父親のイングバーさんに国際書記長としての仕事を種々指示する時もあるのではないかと・・・。

◎ 1993年 中西部新年会 (社: 燦輝クラブ)

日時: 1993年1月16日(土) 4:00~7:30 P.M.

場所: 千里ライフサイエンスセンター

会費: 参加料: 各10,000円 コット: 2,000円

-----メネット報告-----

森 晴 美

◆ 恒例になりました“留学生えいど・バザー”が、今年も11月14日「であい横丁」と名付けられ、色々な国の国際喫茶店では、手作りの珍しいスナックをわいわい楽しく賞味しました。バザーは、食品、電化製品、雑貨、野菜、果物まであり、留学生の方々とも心暖まる交流が出来、大盛況でした。

御協力下さいました、佐藤、隅田、谷川、平田、矢部、森、各メネット、平田コメント、御苦労様でした。

◆ センテニアル10周年記念行事の一環として、メネット会から、国際奨学基金に10万円寄付させて頂きました。

テレビとビデオの機材を購入され、大阪YMCA国際・社会奉仕センターで、日本語を勉強されている方々にお役立て下さっております。大阪YMCA国際文化センター所長大上様から御礼状を頂きました。

◆ 大邱YMCA合唱団のため、心暖まる歓迎会を開催して下さいまして有難うございました。演奏会も100名の方々がこられ、良き会を持つことが出来ました。演奏会終了後、京都見学などを楽しまれ、帰国されたそうです。

岸川担当主事のお話では、今回の留学生えいど・バザーの参加者は、総計約500名、収益は、約61万円 とのことです。 (福永)

= 11月第2例会報告 =

1. クリスマスパーティのプログラム：
別掲ならびにチラシの通り実施する。
2. 1月度例会： 司会—隅田君 聖書朗読—矢部君
Youth—Kimさん(留学生)、BF—津田葉君のお話
3. 10周年記念パーティの反省：
種々話合いがなされた。収支報告は別紙参照。
4. 第4回ウエルネスシンポジウムへの参加依頼：
日本YMCA 主催、来年1月22~24日於東山荘
5. 京都みやび設立総会：(11月29日)
6. クラブ写真(10周年記念パーティにて撮影)の
代金(加茂氏私)は会計より支払うこととする。
7. 来年度より慶弔関係実施を検討する。
8. その他

[個人消息]

黒田殿之君： 先般御快癒、退院されました。
掛江康一君： 先般米肝臓を悪くされ、芦屋市民病
院に御入院中の処、この度御全快、退院されました。
隅田 保君： 先般下記へ転居されました。

☎ 565 吹田市青山台 3-17-14

☎ 06-833-9487

=私の提案=

センテニアルに

シンボルの花を!!

谷川有美子

わがセンテニアルクラブにシンボルの花を考えては
いかがでしょう・・・ちょうど香港のボヒニアクラブ
にあの白いボヒニアの花があるように。

先日の10周年の記念例会は大成功でした。その折、
出席者の一人から安い会費でおみやげまでいただける
のですか・・・と喜んで居られました。メネット手
作りのみやげと大きなマグカップは、きっと皆さんに
喜んでいただけたことでしょう。

ただ、マグカップのデザインはちょっと情緒にかけ
るように思われるのです。ワイズとセンテニアルのマ
ークはカップの底にでも印刷して、カップの目立つ部
分には花の絵でも入っていたらと・・・このカップ
はお庭の小花を入れて窓辺においておくような利用の
仕方できます。

そこで、最初にもどりますが、センテニアルクラブ
のシンボルとなる花を皆さんで考えてはいかがでしょうか。
香港のボヒニアクラブにはボヒニアのトレードマ
ークがありブレティンに載っています。ハワイのヌア
ヌクラブにはないようですが、ハワイの人々に提案し
てもらってもいいですね。クラブの皆さんで考えては、
と思ったのですが、それともクラブの花など無意味で
しょうか。

= 11月出席状況 =

第1例会出席会員： 25名 ゲスト： 122名
メネット： 12名 コメント： 4名
第2例会出席会員： 9名 メネット： 2名
出席率： 78% (前月77%) 会員数： 33名

◇ クラブ・ソング ◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing.

Ne'er to deny our motto's claim,

Y's Men in fact as well as name.

Always our objects to pursue,

We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに

ともがき ひろがりゆきて

とおきも ちかきもみな

ささげて 立つやワイズメン

さかえと ほまれゆたか

まことは 胸にあふれん

寒よきクリスマスと新年をお祈り致します。(福永)